

# 子ども食堂の現状と 求められる支援

子どもゆめ食堂「だんらん」



2021年  
2/27  
宮木丸美

26年前に始めた音楽合宿は環境学習の場へと変化し  
そこで築いた人間関係を地域で育むため  
品川区の小学校跡地「ウェルカムセンター原」で  
子ども食堂を始めました





コロナ禍で  
食堂は中止  
9月から  
食材配布を開始  
“もぐもぐ満腹  
プロジェクト”





## 食堂拠点「ウェルカムセンター原」が使えず自宅配布

- 食材運搬が重労働
- 暖かすぎて鮮度が保てない
- ピンポンの度に猫がビビる



倉庫配布は寒かった



裏部屋は人数制限有



生ものは緊急配布

# 配布食材の種類



## 企業からの寄付

- ロス間近な食品  
量が多い場合は更に別団体と連携
- 企業側の社会貢献活動
- 福祉活動による寄付
- 受け入れ先のない物資



## 個人からの寄付

## 助成金を活用して購入

- 公共資金を公益性の視点で活かす



# 周知方法

- 食堂参加者親にメールやラインで呼びかけた
- その周囲の家庭に声をかけてもらった
- Facebookで呼びかけ報告も行う  
チラシ募集だと数が読めないため

# 配布方法

- 名簿を作成し年齢/家族構成/好みの傾向にあわせて配布
- 予約/対面原則、天候/重量/鮮度などに配慮
- 受け取った食品を更に周囲の人と分け合うなど食品が良いネットワークを生んだ

# 問題点

- 友達の分を持ち帰る親切がモンスターを生む
- 手渡しでの会話がないとつながりができない
- 支援の緊急度が直接会わないと見えてこない

# 目的の確認

- 貧困家庭の支援が主目的ではない
- 主に働くお母さんの心の支援だと考える

# 心がけている事と今後

- Facebookで寄付食材の写真、調理写真、レシピ、投稿写真やレシピを掲載する
- 活動写真をコマメに撮り記録として残す
- 企業の要請があった場合は写真提供をする
- 行政のイベントや会議に出席し情報を活用する
- 配布は重労働なので手伝ってもらおう
- 配布時間は短めにして手間を減らす
- 宅食活動「おすそわけ子ども食堂」を開始
- シングル応援「おすそわけhappyドア」継続

仕事に育児に  
やりくり

毎日忙しい  
子育て家庭の  
ママさん

37人に

聞きました

2/25

## SDGsって何か知っていますか

関心がある 6名

聞いたことがある 15名

聞いたことがない 16名

## プラネタリーヘルスダイエットは

関心がある 0名

聞いたことはあるが内容は知らない 3名

聞いたことがない 34名

## 見えてくること

生活や家庭教育の担い手であるママ達は、我が子の成長や受験の話題には関心があっても9年先の世界を考える機会がありません。また、すまいるスクールで子どもに指導しても家庭にはなかなか届きません。

子ども食堂や食材配布を通じて、インパクトのある情報を直接ママに届けていきます。

# こんな寄付はうれしい！

何と言っても大人気は米などの主食です。でも、食品ロスに貢献できるのなら、重くても、量が多くても、配布しにくくてもウェルカムです。エコ活動につながるという側面は受け取る側の喜びになります。情報という寄付も嬉しいです。持続可能な世界の反対は悪夢。子孫に未来を残せるように手をつなぎましょう。

